



消防力向上に向けた人材育成!

田原市消防本部では、採用から5年目までの若手職員に対してYST (Young Staff Training) と名付けた『若手職員基本教育』を実施し、知識の習得や技術の底上げを図ることで消防力の向上を目指しています。

YSTの内容は座学と実技が中心となり、1年目の職員は消防の基本となるホース延長やロープ結索などについて、2～5年目の職員は災害現場での活動要領などを学んでいます。



●先輩からの話を真剣に聞きます



●はしご訓練の様子



●ロープ降下訓練の様子

若手職員は、早く一人前の消防職員となるよう日々訓練に励んでいます。

◆指導担当者から一言

教えることは大変難しく苦勞も絶えませんが、若手職員が成長する姿を直に見ることができ、逆に刺激を受けています。これからも組織力の向上と質の高い市民サービスの提供ができるよう指導に当たっていきたくと思います。



◆若手職員から一言

日々の厳しい訓練や座学教育が現場活動で生かされた時は、消防職へのやりがいを感じます。

また、数々の現場経験を生かし、私たちが指導してくださる先輩方に感謝しています。そして、何よりも市民の期待に応えることができた時に喜びを感じ、自信を持つことができます。



●救急訓練の様子